

さんらいずにゅうす

学校だより

2026年5月28日
5月号
日出学園小学校
校長 荻原 巖

校長あいさつ

新緑の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

新年度が始まって2か月。1年生もすっかり小学校生活に慣れ、教室からは元気いっぴいの声が響いてきます。2年生以上の上級生も進級した学年として行動しています。4月の兄弟学年遠足、自然教室と校外での活動も無事に終わり、いよいよ今週末は運動会です。校庭からは毎日、元気いっぴいの掛け声や、リズムに合わせた軽快な足音が聞こえてきます。応援団、紅白リレー、鼓笛などでは学年の枠を越え、力を合わせて頑張る姿も見られます。あとは当日のお天気だけが心配です。子どもたちが元気いっぴいに活動できる青空を期待したいところですが、熱中症も心配です。できる限りの対策を講じた上、開催いたします。笑顔で頑張る子どもたちにたくさんの声援をお願いいたします。

校長 荻原巖

春の全校遠足

小岩菖蒲園（1・5年生）

名刺交換会で顔合わせをしていた5年生のお兄さんお姉さんと手をつなぎ、電車に乗って小岩菖蒲園へ出発しました。電車内では周りの方への配慮を忘れず、静かに過ごす姿が見られました。また、5年生がすすんで席を譲り、1年生を優しく座らせてあげる頼もしい場面もありました。園内では鬼ごっこや遊具遊びを一緒に楽しみ、その後は仲良くお弁当を食べながら交流を深めました。優しく声をかけたり、歩く速さを合わせたりする5年生の姿から、お兄さんお姉さんとしての頼もしさが感じられ、笑顔あふれる一日となりました。

これからも学校生活の中で、学年をこえて温かく関わる姿をたくさん見られることを楽しみにしています。

里見公園（2・6年生）

4月20日に春の全校遠足が行われました。2年生と6年生がペアを作り、手をつないで里見公園まで行きました。車の往来が激しい道路では、6年生が意識的に外側を歩いたり、疲れて足が重い2年生に明るく話しかけたりしてくれました。公園では、2年生が迷子にならないようにしっかりと見守ってくれて、トイレにも一緒について行ってくれました。ところどころに上級生の自覚と、下級生の上級生に対する信頼が見られました。

日出学園の伝統が受け継がれていく様子を我々職員はいつも見ています。今お世話をしてもらっている2年生が、4年後に同じことをしてあげている様子を考えると、将来がとても楽しみでなりません。

国分川調整池緑地（3・4年生）

「おはよー！リュック同じだね！」など、朝からウキウキ気分の3年生。初めて上の立場での遠足で、楽しい気持ち半分、しっかりできるか緊張も半分の4年生。年が近いだけあって、目的地までは様々な内容で話に花を咲かせていました。

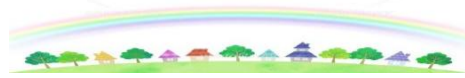
一番盛り上がったのは、お弁当の時間でした。たくさん遊んでお腹もペコペコだったところでワイワイと食べるおいしいお弁当とお菓子は、格別の思い出になったようです。

4年生は様々な部分に気を遣い、3年生を楽しませる工夫をたくさんしてくれました。たったの1年、されど1年。1年間での子どもの成長を目の当たりにした遠足でした。





自然教室



4年生

館山（マザー牧場・沖の島・鴨川シーワールド）



爽やかな五月晴れの下、2泊3日の自然教室を実施しました。「行ってきます！」と元気に出発した子ども達は、マザー牧場、沖ノ島、鴨川シーワールドを巡り、千葉の豊かな自然の中で仲間との絆を深めました。

1日目のマザー牧場では、班で協力したオリエンテーリングを楽しみました。夜は、展望台の望遠鏡で木星を観測したほか、海藻のしおり作りを体験。磯の香りを感じながら、翌日の観察への期待を膨らませました。2日目の沖ノ島では、磯の観察に挑戦。波の音や潮の香りを感じ、生き物の感触に驚くなど、五感をフルに使った学びは、机上では得られない貴重な経験となりました。最終日は、鴨川シーワールドでシャチのショーなどを観覧し、海の生命の力強さを実感しました。

この3日間、子ども達は「5分前行動」を意識し、自律して過ごすことができました。時間を守り、仲間と協力して一回り遅くなった姿に、確かな成長を感じる行事となりました。



5年生

孺恋（自然史博物館・東麓ノ登山・郷土資料館）



例年利用していた施設の改装に伴い、本校としては初めて休暇村孺恋鹿沢を訪れました。

初日の自然史博物館では生命の歴史に触れ、2日目はいよいよ^{ひがしふもと}東麓ノ登山でのトレッキングです。表情を変える空模様の下、子どもたちは急峻な岩場や細い山道を、声を掛け合い、一歩ずつ踏みしめていきました。

苦難の末に辿り着いた山頂では、眼下に広がる絶景や、遙か遠くに小さく見える自分たちのバスを眺め、「こんなに登ってきたんだ！」と歓声が上がりました。その表情には、困難を乗り越えた者だけが味わえる晴れやかな達成感が満ち溢れており、充実さがうかがえました。

最終日は孺恋郷土資料館にて、天明の浅間山大噴火の歴史を学びました。被災した村の真上に建つ資料館での学習は、自然の猛威と、そこから立ち上がった人々の強さを肌で感じる貴重な機会となりました。

仲間と共に刻んだ3日間の足跡は、子どもたちの心に確かな自信として根付いたことでしょう。



6年生

日光（足尾銅山・華巖の滝

戦場ヶ原・日光東照宮）



5月12日から14日の3日間、6年生は日光方面へ自然教室に行ってきました。小学校生活3回目の自然教室です。まさに「集大成」となる今回の宿泊学習。子どもたちは「主体性」と「協調性」を意識し、集団生活の中で大きな学びを深めました。

1日目は足尾銅山で歴史に触れ、華巖の滝の迫りに圧倒されました。2日目は大自然の中、戦場ヶ原のハイキングに挑戦しました。3日目は世界遺産・日光東照宮の歴史遺産を学びました。お世話になった「ほのかな宿 樹林」では、仲間と寝食を共にし、声を掛け合いながらきびきびと行動する姿に、最高学年としての頼もしさを感じました。

この3日間で培った絆と、自ら考えて行動した経験は、これからの学校生活の大きな糧となるはずです。保護者の皆様、これまでの準備や温かいサポートを本当にありがとうございました。

